

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス こくぶ太陽の子			
○保護者評価実施期間	令和7年 1月6日		～	令和7年 1月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～	令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さん方が様々な経験を通して学び、成長につながる活動が豊富である。スタッフもお子さんと一緒に活動を楽しんでいる。	・ お子さんたちの楽しみ、自立に向けた経験、課題に触れた遊び等様々な視点から考案しています。 ・ 場を盛り上げる等スタッフ間のフォロー体制が整っています。 ・ お子さんや保護者様からいただいた御意見をスタッフ間で共有し反映しています。 ・ 心和の郷と連携を取り就労体験をしています。 ・ 性教育や避難訓練等定期的に取り組んでいます。	・ 今後もお子さん方の好きなこと、楽しいこと、できた！を増やせられるよう活動内容に工夫していきます。活動内容のねらいや具体的な支援内容が保護者様へ伝えられるよう情報発信に努めます。
2	・ スタッフ間で常に意見を出し合い、課題を共有し業務改善、支援につなげることができている。何でも言い合えるチームワークである。	・ 朝礼・昼礼時等、業務に関することは情報の共有を行い、休日のスタッフとも情報の伝達をラインにて行っています。 ・ 日頃からコミュニケーションを図り、雰囲気作りを大事にしています。 ・ 個人面談等、話ができる場を設定しています。	・ 今後も気付いた点や不安な点は一人で抱えず、全体でカバーできる体制作り、日々のコミュニケーション作りに努めていきます。面談や食事会など開催し、心和での交流を深めていきます。
3	・ 追加・延長サービス・送迎等臨機応変な対応をしている。	・ 緊急時の受け入れは、応えられるよう努力しています。 ・ 連絡についても、3 6 5日時間外でも対応できる体制でいます。	・ 今後も保護者様の御要望に応えられるよう体制作りに努めていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 保護者様、学校や相談支援事業所との情報共有ができていないと感じることがある。	・ 公式ラインにて、情報発信を行っていますが、保護者様により情報認識の差が大きく、共通理解が図れていない、緊急時連絡にタイムラグが発生することがあります。 ・ お子さんによっては、学校の先生、相談支援事業所と話す機会が少なくなっているため、関係機関集まって情報交換・共有ができなくなっています。	・ 公式ラインを見てもらえるよう情報伝達を工夫していきます。定期的に保護者様へ準備物や身だしなみ等、お知らせをし習慣へつなげていきたいです。 ・ 相談支援事業所へアプローチをし会議を設けてもらう等、関係機関での情報共有を高めていきたいです。 ・ 引き続き、太陽の子で情報交換会を実施し連携に努めていきたいと思います。
2	・ 書類が多く、情報の把握(時間の確保)が難しくなっている。	・ 法改正と共に新たに取り組むこと、関連する書類が増え、普段の業務に重ね書類作成の時間を要するようになってきています。	・ より手順を分かりやすくする、フローチャートにまとめる等情報・書類整理、業務の見直しに取り組めます。
3	・ 地域との連携が弱い。	・ 地域の方と交流できる場、事業所を知ってもらえる場がないため、地域の方々と関わりを持つことができていません。	・ 日頃の挨拶から関わりを大事にし、関係性を高め連携体制につなげていきます。 ・ 催し物等、地域の方との交流できる場を考えていきます。